

24年度補正



株式会社野崎美工舎

大型鋼板切断機(シャーリング)導入による 多様化するニーズに対する即応化

近年多様化する看板製作現場において、金属加工作業の比率が高くなった。これまで外注していた原板加工の内製化で価格、納期などの低減・差別化を図ることができる。LED関連、デジタルサイネージなどのフレーム製作など、今後より一層成長分野への事業展開を進めていく。



事業の背景と目的

当社は比較的大型看板の受注が多く、構造躯体は金属製がほとんどである。既存の設備は小型のため、大型物件に関しては外注を余儀なくされてきた。昨今、県内同業者だけではなく県外の手同業者との競合も多く、コスト削減と納期短縮のため材料加工の内製化は不可欠となってきており、当社の将来にとって、需要に応えるための新鋭機器導入が必要であった。

事業内容と成果

大型鋼板切断機を導入し、業務効率化を図った。既存の設備では対応できなかった加工が内製化できるようになり、LED関連、デジタルサイネージへの対応が加速した。精度が高まり切断材料のゆがみ・ねじれが改善されたことで材料切断面の精度が向上した。その結果、製品の加工が迅速・正確に行え、仕上がりもきれいになり、作業員の安全性も高まった。併せて外注比率も下がり、納期短縮が実現した。



自動音声・3Dスコープ内蔵案内板



案内板



取材風景（野崎社長）

事業取り組み後の成果

当該設備の導入により、外注比率の減少、納期短縮、特急仕事への対応が可能となった。また、切断材料の「ゆがみ」「ねじれ」が改善し、修正作業や不良品などのロスを削減できた。その結果、粗利改善、顧客満足度向上が図られ、売上増加につながった。その他、「バリ」の発生減少により、従業員の安全性も高まった。

達成要因

設備導入前に、土台のコンクリートを強化するため「増打ち」を行い、振動や騒音対策を施していた。設備機械自体は、価格は高いが信頼性の高いメーカーの製品を指定しており、期待通りの性能を発揮している。また、NCなどの複雑操作が少なく、単機能で使用するため、職人全員が操作することが可能になった。

今後の取り組み

自社技術力と施工能力を高め他社との差別化を図るため、防災加工、印刷の耐久性証明、フィルム加工技術やシックハウス対策などのメーカー認定を積極的に取得している。これらを踏まえ、ワンオフ（一度限りの製造品）を得意とし、デザイン、設計、製造、施工が可能な会社として、ブランド化を図っていきたい。

“空想を形に”をモットーに多様化する顧客のニーズに応えます



受注は既存顧客からのリピート、紹介、入札が主であり、営業専任者は置いていないが、ワンオフの発注は、全国的大型店のチェーン本部、建設コンサルタント会社や行政などを対象としているので、ホームページで自社の技術力、施工能力、保有資格や施工例をアピールすることが有効である。なお、ホームページは企業情報を最新のものに更新するなど、内容を常に見直す必要がある。また、ハンズオンによる若手職人の指導は、作業内容を動画に収めるなど技術を継承していただきたい。

企業PR

装飾金物細工を生業とする当社は、来年で創業140年を迎えます。現在は、大型看板をはじめ金属モニュメント、内装金物、特に展示館・資料館などの特殊な展示什器などを九州各地で製作していますが、これからも独自性を持った企業として、顧客に必要とされるように信用を積み重ねていきます。



事業者 株式会社野崎美工舎
 代表者 代表取締役 野崎 昌登
 設立年月日 昭和54年7月2日
 所在地等
 [本社] 〒891-0115
 鹿児島市東開町3-89
 TEL 099(268) 1339/FAX 099(268) 1621
 〈URL〉 <http://www.nozakibk.com/>
 資本金額 1,000万円
 従業員数 16名
 業 種 その他の製造業